

## ◎ 2018 卒業研究 [小論文と制作]

1. 商店街の活性化と放置自転車対策の関連性についての研究  
-あびこ駅前地域を事例として-
2. 集合住宅団地の再生計画の事例研究
3. 限界集落の地域資源に関する研究 -和歌山県美里町を事例として-
4. 建築家 山本理顕の「闘」についての研究
5. 路地の空間構成に関する研究 -中崎町を事例として-



## ◎ 学外研修

1. 木造住宅の現場を学ぶ [ 京都 船岡山の家：中山大介先生 ]
2. 木造建築の道具を学ぶ [ 神戸 竹中大工道具館 ]
3. 疎水と庭／庭と建築の関係を学ぶ [ 京都 無隣庵／並河靖之記念館 ]
4. 建築環境工学とデザインの融合を学ぶ [ 聴竹居：藤井厚二 ]
5. 京都 大山崎町の歴史文化を学ぶ [ 大山崎町歴史資料館 ]
6. 都市環境と住居の関係を学ぶ [ 積層の家：大谷弘明 ]
7. 周辺環境と建築の界限性を学ぶ [ ローズガーデン：安藤忠雄 ]
8. 歴史的景観と現代建築の関係性を学ぶ [ 国立京都近代美術館：楨文彦 ]
9. インテリアデザインの現在を学ぶ [ BLUE BOTTLE COFFEE：長坂常 ]
10. 美味しい料理を食す [ ネギ汁ソバ：順徳／カタやきそば：別館牡丹園 ]

## ◎ JIA 神奈川 茶室コンペ 審査員賞 [小泉雅生賞] リサイクル／リユース／アップサイクルを学びデザインする

### プラスチックバッグの茶室

みんなで一緒につくる「プラスチックバッグの茶室」は、5つの考え方でできている。

- 1人で運ぶことができる：木棒φ12mm / プラスチックバッグ
- 2人で組み立てることができる：園芸用ゴム / だるまクリップ
- 3つの R と U：Recycle, Reuse, そして Reduce [削減] することがもっとも必要である。もうひとつの考え方として Upcycle [アップサイクル] がある。廃棄物に一手間を加えて別の用途として利用するデザインの方法である。
- 4つめは、だれでも参加することができること：プラスチックバッグをみつけたら捨てないで集めよう。
- 5つめは、みんなでつくることができること：アイロンとアルミホイルを準備してみんなでつくろう。

アップサイクルデザインにおいてプラスチックを素材にするものの難しさは、本質的にはその素材の生産を人間が止めることにあるにもかかわらず、その素材を利用してデザインをつくりだすことにある。それでも、この「プラスチックバッグの茶室」をつくること、そしてそれが美しく、かつ人の居場所と行為をうみだすことに意義がある。

